

令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査等の結果の概要について（県内公立学校）

このことについて、下記のとおり、滋賀県の状況をとりまとめましたので、お知らせいたします。

記

1 調査の趣旨

児童生徒の問題行動・不登校等について県内状況を調査・分析することにより、今後の指導の充実に資する。

2 調査対象

公立小学校(218校)、公立中学校(96校)、公立義務教育学校(2校)、県立高等学校(全日制・定時制併置校を含む全日制44校、定時制・通信制併置校を含む定時制2校、計46校)、県立特別支援学校(16校)

※各調査項目における小・中学校の学校総数…小学校は、義務教育学校前期課程を含めて220校、中学校は義務教育学校後期課程を含めて98校になる。

※いじめの状況調査における高等学校の学校総数…全日制・定時制・通信制併置校は、全日制、定時制、通信制それぞれ1校として別々に計上し、その合計数となるため合計51校となる。

3 調査期間

令和5年4月1日～令和6年3月31日

4 調査・集計方法

公立小・中・義務教育学校においては、各校で調査したものを各市町教育委員会が取りまとめ、県教育委員会に提出する。県立高等学校、県立中学校および県立特別支援学校においては、県教育委員会に提出する。県教育委員会は提出された調査票をもとに集計する。

5 主な調査項目

- | | |
|---|------|
| (1) 公立小学校、公立中学校および県立高等学校における暴力行為の状況 | P 4 |
| (2) 公立小学校、公立中学校、県立高等学校および県立特別支援学校におけるいじめの状況 | P 6 |
| (3) 公立小学校、公立中学校および県立高等学校における長期欠席の状況 | P 8 |
| (4) 県立高等学校における中途退学者数等の状況(全日制) | P 11 |
| (5) 公立小学校、公立中学校および県立高等学校における自殺の状況 | P 11 |

※ 義務教育学校の前期課程は小学校に、義務教育学校後期課程は中学校に含んでいる。

6 今年度調査の主な変更点

- (1) 小学校および中学校、高等学校における長期欠席の状況等で、欠席理由の、「新型コロナウイルス感染回避」が削除。
- (2) 調査項目「不登校の要因」が「不登校児童生徒について把握した事実」に変更。

7 調査結果について

(1) 暴力行為

【調査結果のポイント】

- ・どの校種でも増加し、公立小学校・中学校では過去最多となった。
- ・暴力行為の発生件数の増加は、特定の児童生徒が繰り返し暴力行為を行ったことや、教員が暴力行為の程度にかかわらず早期に組織的対応をするようになったこと等が要因と考えられる。

【対策】

- ・他者を思いやり、傷つけない人に育つことを意識した、校内の雰囲気づくりや道徳教育等、日常の働きかけを推進する。
- ・どうすれば落ち着くのか等、個々の子ども達に対する言葉がけや接し方について情報共有することを推進する。
- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等を活用したアセスメントを行い、アセスメントに基づいた児童生徒への適切な支援を進め、状況に応じて警察等関係機関との積極的な連携を推進する。
- ・校種間連携の更なる推進を図る。

(2) いじめ

【調査結果のポイント】

- ・総認知件数は過去最多（公立中学校では過去最多）となった。
- ・いじめ防止対策推進法におけるいじめの定義やいじめの積極的な認知に対する理解が広がったと考えられる。
- ・いじめ防止対策推進法の理解が進んだことによる重大事態の積極的な認定や保護者の意向を尊重した対応がなされるようになった一方、一部、学校としていじめの兆候を見逃してしまうなどの早期発見・早期対応への課題や個々の教員が一人で抱え込んでしまうなどの組織的な対応に課題があった。

【対策】

- ・多様性を認め、人権侵害をしない人に育つような人権教育等を通じた働きかけを推進する。
- ・いじめの定義について、リーフレット等を用い、教職員の共通認識を図る。
- ・いじめの事案に対しては、学校いじめ対策組織において、対応方針等検討し被害者に寄り添った対応を行う。
- ・重大事態の再発防止策のために、第三者の視点も入れながら、学校の取組の進捗管理や検証を推進する。

(3) 長期欠席のうち不登校

【調査結果のポイント】

- ・公立小学校・中学校において不登校児童生徒数は増加し、過去最多となった。
- ・不登校児童生徒数について把握した事実は、公立小学校・中学校・県立高等学校ともに、「学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった」の割合が一番高く、次いで「不安・抑うつ等の相談があった。」であった。
- ・「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」の趣旨の浸透による本人や保護者の学校に対する意識の変化やコロナ禍の影響による登校意欲の低下等も増加の要因として考えられる。

【対策】

- ・すべての子どもの安全・安心が守られ登校を楽しみにできる魅力ある学校づくりや、すべての子どもとの関係づくりを大切にする教育相談の推進を図る。
- ・児童生徒が不登校に至る前から、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等を活用し、アセスメントを行った上で、教育と福祉、医療等との連携を図りながら個別最適な支援の充実を図る。
- ・教室に入りにくい子どもに対しては、教室以外の学びの場や居場所のひとつとしてスペシャルサポートルーム（SSR）を活用し、アセスメントに基づく個々の状況に応じた多様な支援の充実を推進する。
- ・登校できない子どもに対しては、教育支援センターやフリースクール等の民間団体とも連携する等、子ども達の学びの機会の確保を推進する。
- ・支援につながっていない児童生徒への支援体制づくりを進めるとともに、支援の強化を図っていく。

(4) 中途退学

【調査結果のポイント】

- ・県立高等学校（全日制）における中途退学者数は、3年連続で増加した。
- ・県立高等学校（全日制）の中途退学の理由としては、学校生活・学業不適応が最も多い。

【対策】

- ・出身中学校や関係機関からの情報収集を行うとともに、中途退学防止に向けた基本的な対応（アセスメントとプランニング）の実施を推進する。
- ・中途退学の理由は様々であることから、それぞれの要因や背景に応じた対応を推進する。

(5) 自殺

【調査結果のポイント】

- ・自殺者数は6人。

【対策】

- ・未来を生きぬく力を身に付けるように働きかける命の教育等の実施、および安全・安心な学校環境づくりを推進する。
- ・日頃から子ども達との関係づくりを大切にし、いつでも不安や悩みを打ち明けてもらえるような子どもたちとの関係づくりを推進する。また、困ったときのサインをどのように出して良いかわからない場合もあるため、「SOSの出し方に関する教育」等の自殺防止教育を推進する。
- ・「24時間SOSダイヤル」や「こころのサポートしが（LINE相談）」等を活用した相談窓口の周知を積極的に行う。
- ・特に長期休業明けは自殺者数が増加する傾向にあるため、長期休業中は子どもの状況を把握するよう努める。
- ・児童生徒の自殺を企図する兆候が見られた場合には、特定の教職員で抱え込まずスクールカウンセラー等の助言のもと、保護者や医療機関等と連携しながら組織的かつ、きめ細かに対応できる体制づくりを推進する。

1 公立小学校、公立中学校および県立高等学校における暴力行為の状況

(1) 暴力行為の総発生件数〈表(1)〉

公立小・中学校および県立高等学校における暴力行為の総発生件数 1,493 件 であり過去最多
【前年度 (1,275 件) より 218 件増加】

(2) 学校種別の発生件数〈表(2)〉

① 公立小学校

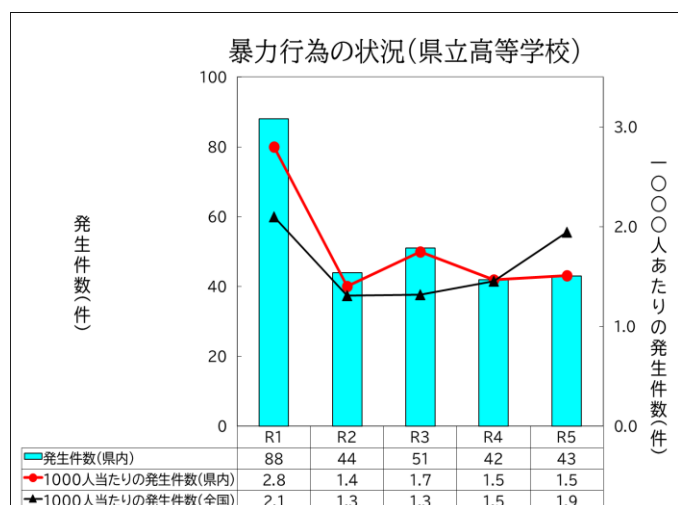
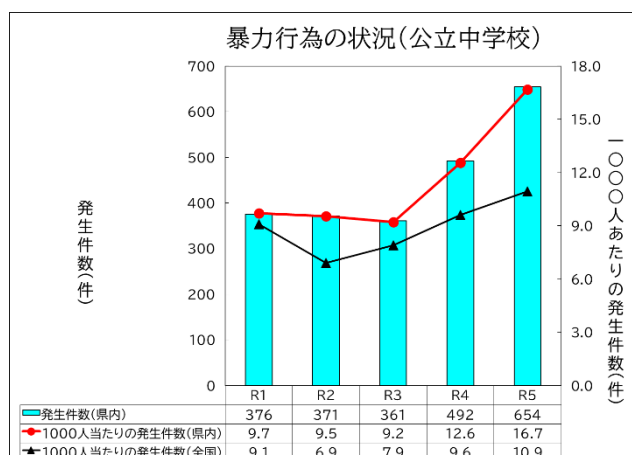
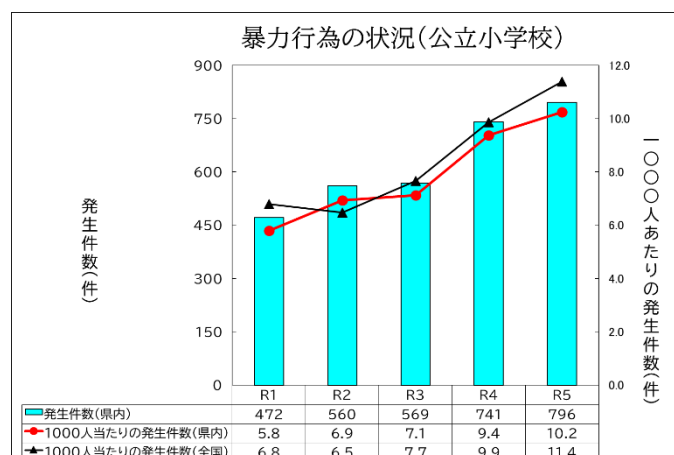
・総発生件数は 796 件 【前年度 (741 件) より 55 件増加】 であり過去最多

② 公立中学校

・総発生件数は 654 件 【前年度 (492 件) より 162 件増加】 であり過去最多

③ 県立高等学校

・総発生件数は 43 件 【前年度 (42 件) より 1 件増加】 と増加



(3) 校種別・形態別の発生件数〈表(3)〉

(暴力行為の形態は「対教師暴力」「生徒間暴力」「対人暴力」「器物損壊」の四形態)

① 公立小学校

- ・「対教師暴力」 164件【前年度(275件)より111件減少】
- ・「生徒間暴力」 525件【前年度(340件)より185件増加】
- ・「対人暴力」 1件【前年度(3件)より2件減少】
- ・「器物損壊」 106件【前年度(123件)より17件減少】

※ 県内における具体的事例

- ・ルールを守れないことへの注意に対して腹を立て、暴力を振るった。〈対教師暴力〉
- ・友人と口論になり、腹を立て、相手に対して暴力を振るった。〈生徒間暴力〉
- ・教師に注意されたことに腹を立て、物を投げ、窓ガラスを割った。〈器物損壊〉

② 公立中学校

- ・「対教師暴力」 167件【前年度(114件)より53件増加】
- ・「生徒間暴力」 373件【前年度(290件)より83件増加】
- ・「対人暴力」 8件【前年度(2件)より6件増加】
- ・「器物損壊」 106件【前年度(86件)より20件増加】

※ 県内における具体的事例

- ・教師から注意を受けたことに対して激昂し、胸元を押した。〈対教師暴力〉
- ・相手と適切なコミュニケーションがとれず、自分の感情を一方的にぶつけ暴力行為に至った。〈生徒間暴力〉
- ・タブレット端末の不具合に腹を立て、タブレット端末を投げて破損させた。〈器物損壊〉

③ 県立高等学校

- ・「対教師暴力」 7件【前年度(10件)より3件減少】
- ・「生徒間暴力」 27件【前年度(20件)より7件増加】
- ・「対人暴力」 2件【前年度(2件)より増減なし】
- ・「器物損壊」 7件【前年度(10件)より3件減少】

※ 県内における具体的事例

- ・考査の点数が良くなかったことに腹を立て、教師を蹴った。〈対教師暴力〉
- ・ふざけ合いや不適切画像投稿から、暴力行為に発展した。〈生徒間暴力〉
- ・自分の感情が抑えられず、下駄箱を壊した。〈器物損壊〉

2 公立小学校、公立中学校、県立高等学校および県立特別支援学校におけるいじめの状況

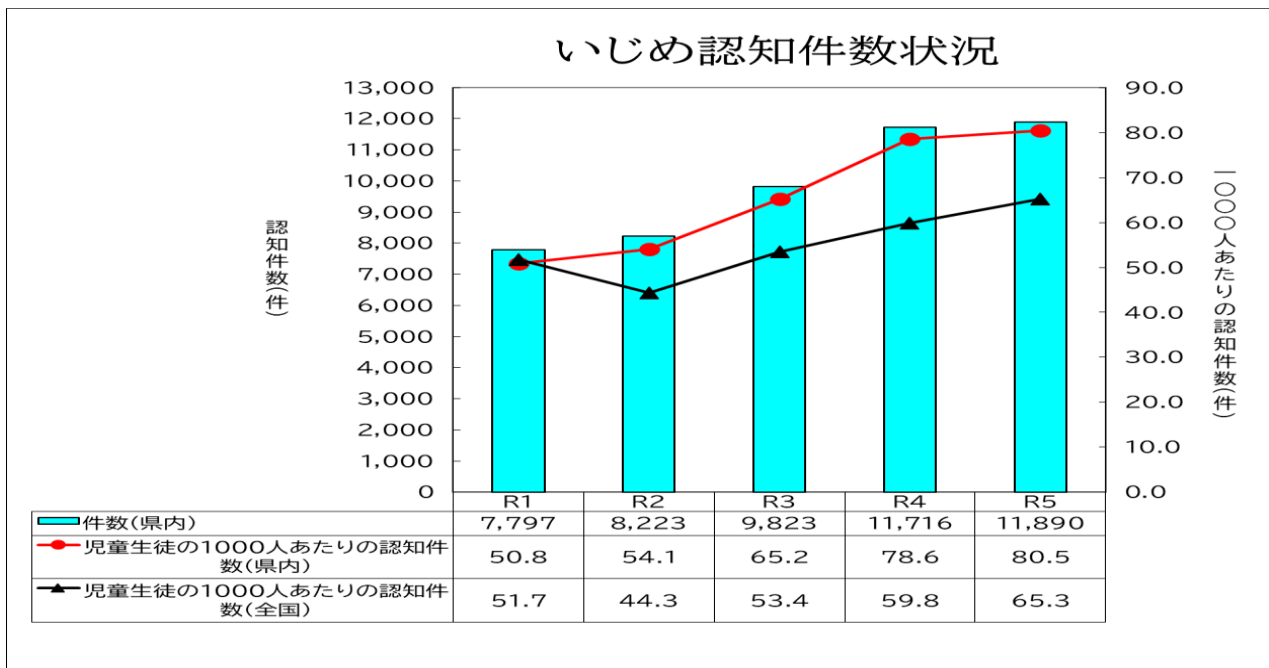
(1) いじめを認知した学校数（学校総数に対する割合）

公立小・中学校および県立学校のいじめを認知した学校の割合は96.6%【前年度 95.1%】

- ① 公立小学校
 - ・認知学校数 217校（98.6%）【前年度 218校 99.1%】
- ② 公立中学校
 - ・認知学校数 98校（100%）【前年度 98校 100%】
- ③ 県立高等学校
 - ・認知学校数 48校（94.1%）【前年度 42校 82.4%】
- ④ 県立特別支援学校
 - ・認知学校数 9校（56.3%）【前年度 8校 50.0%】

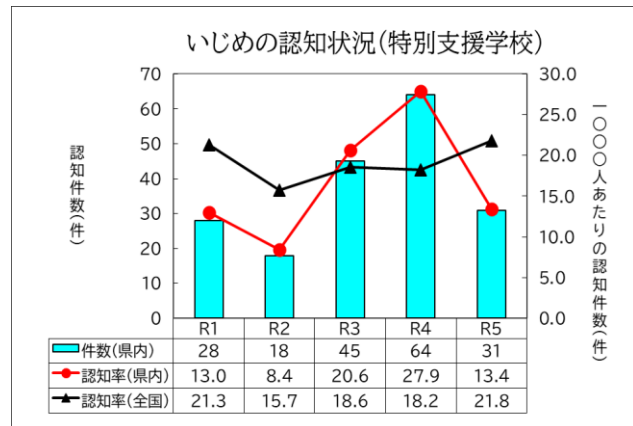
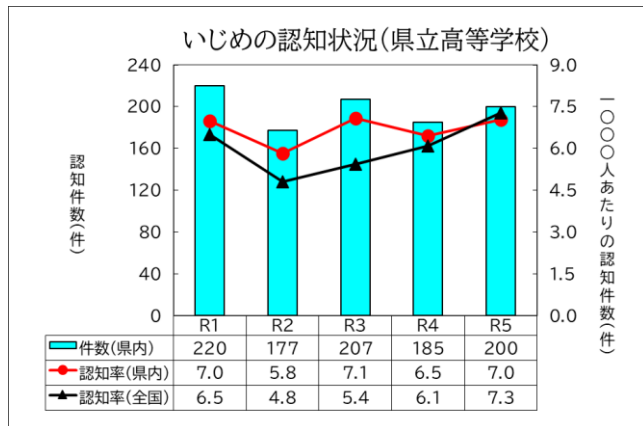
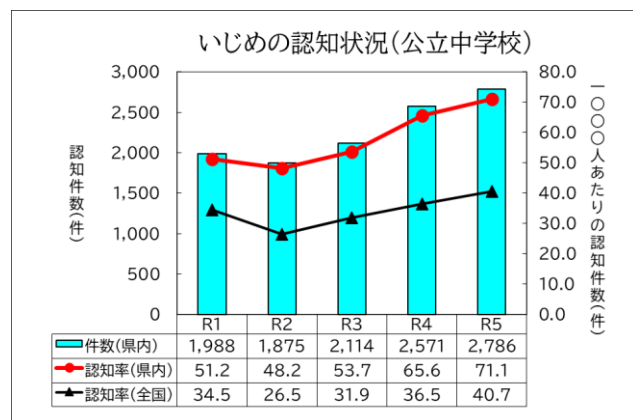
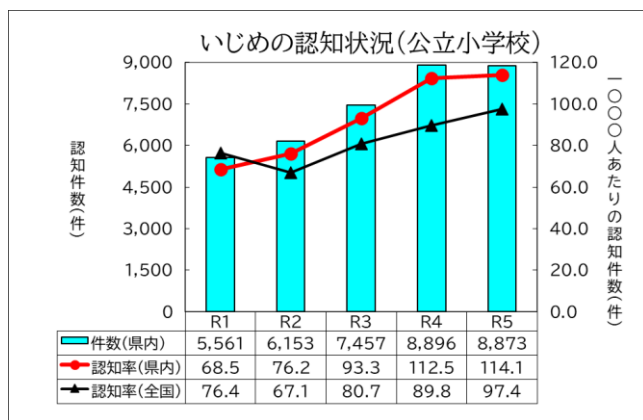
(2) 県内公立学校いじめの認知件数〈表(4)〉

公立小・中学校および県立学校のいじめの総認知件数11,890件であり過去最多
【前年度（11,716件）より174件増加】



(3) 校種別いじめの認知件数〈表(5)〉

- ① 公立小学校
 - ・認知件数 8,873件【前年度（8,896件）より 23件減少】と減少
- ② 公立中学校
 - ・認知件数 2,786件【前年度（2,571件）より 215件増加】であり過去最多
- ③ 県立高等学校
 - ・認知件数 200件【前年度（ 185件）より 15件増加】と増加
- ④ 県立特別支援学校
 - ・認知件数 31件【前年度（ 64件）より 33件減少】と減少



(4) いじめの態様 **表(6)**

ア 小学校における多い態様

- ① 冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ② 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。

※ 県内における具体的事例

- ・気持ちを深く考えない相手から、嫌な言葉を言われた。
- ・腹を立てた相手に、叩かれたり、嫌がらせをされた。

イ 中学校における多い態様

- ① 冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ② 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。

※ 県内における具体的事例

- ・気持ちを考えない相手から、冷やかしか嫌なことを言われた。
- ・誹謗中傷の言葉を SNS 上にアップされ、拡散された。

ウ 高等学校における多い態様

- ① 冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ② 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。

※ 県内における具体的事例

- ・運動部で複数の部員から、ミスを叱責されたり馬鹿にされた。
- ・SNS上で性的な画像を送信され、拡散された。

エ 特別支援学校における多い態様

- ① 冷やかしいやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ② パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる。

※ 県内における具体的事例

- ・ 性的な言葉がけをされたり、身体を触られたりした。
- ・ SNS上で誹謗中傷、悪口を書かれた。

(5) いじめの重大事態の総発生件数

公立小・中学校および県立学校の合計 20 件【前年度（13 件）より7件増加】であり過去最多

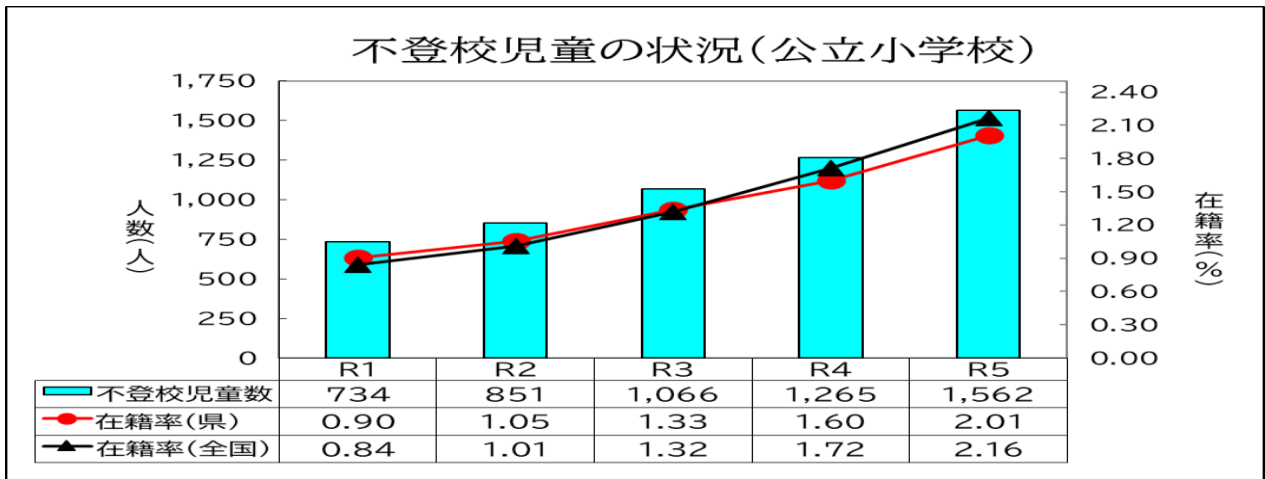
3 公立小学校、公立中学校および県立高等学校における長期欠席の状況

（長期欠席は理由別に「病気」「経済的理由」「不登校」「その他」の4種類）

(1) 理由別長期欠席者数および不登校児童数（小学校）

- ① 公立小学校における長期欠席（表（7）（8））

年間 30 日以上の長期欠席者数 2,670 人【前年度（2,476 人）より 194 人増加】



- ② 長期欠席者のうち不登校児童数 1,562 人【前年度（1,265 人）より 297 人増加】であり過去最多
不登校児童の在籍率 2.01%【前年度(1.60%)より 0.41 ポイント増加】であり過去最高

【学校内外の機関等で相談・指導等を受けていない児童】（表（9））

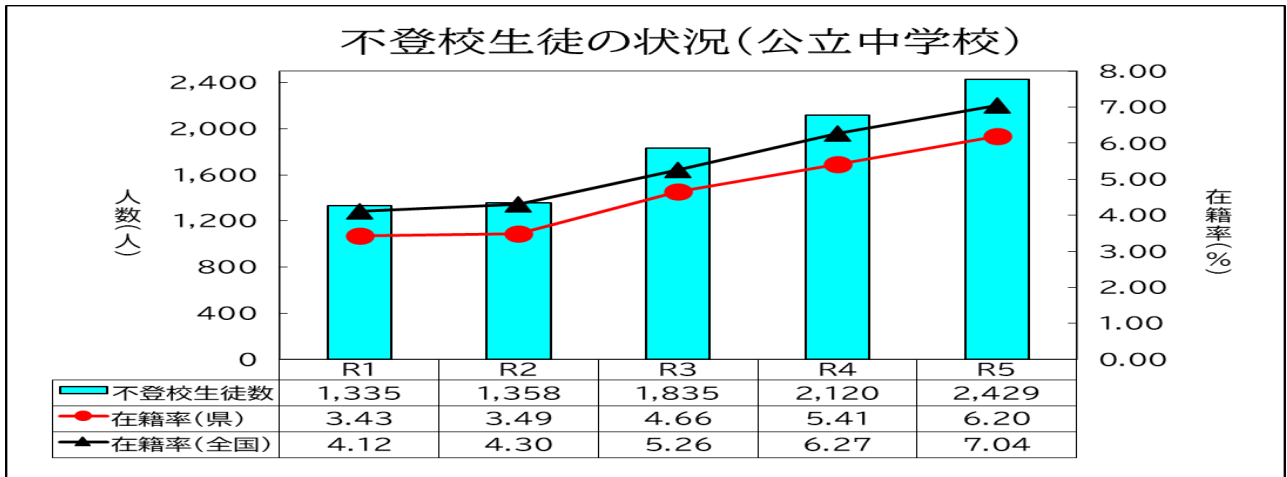
不登校児童数のうち 493 人【前年度(365 人)より 128 人増加】

不登校児童数に占める割合 31.6%【前年度(28.9%)より 2.7 ポイント増加】

(2) 理由別長期欠席者数および不登校生徒数（中学校）

① 公立中学校における長期欠席〈表 (10) (11)〉

年間 30 日以上の長期欠席者数 3,289 人【前年度 (3,242 人) より 47 人増加】



② 長期欠席者のうち不登校生徒数 2,429 人【前年度 (2,120 人) より 309 人増加】であり過去最多
不登校生徒の在籍率 6.20%【前年度(5.41%)より 0.79 ポイント増加】であり過去最高

【学校内外の機関等で相談・指導等を受けていない生徒】 〈表 (12)〉

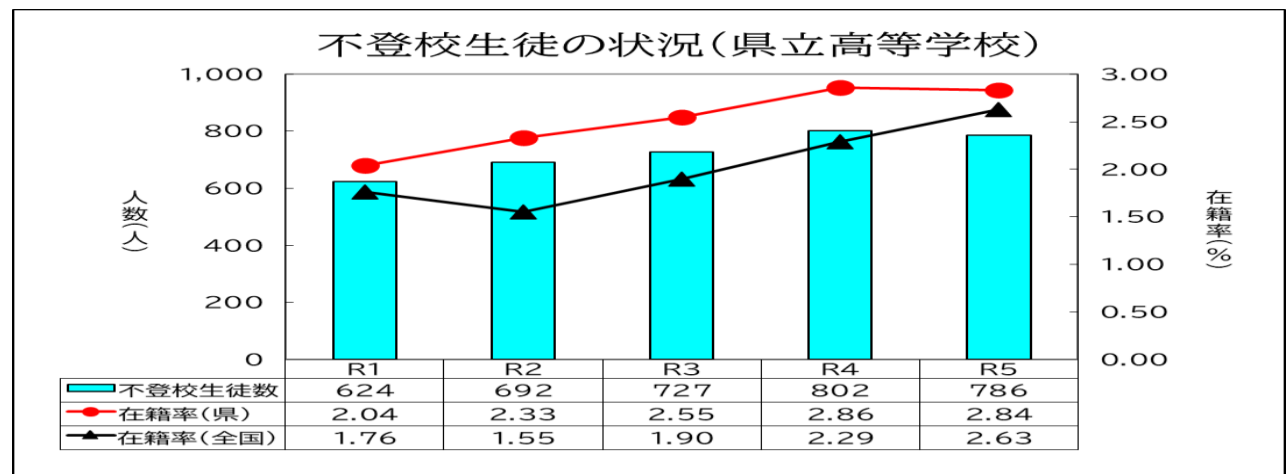
不登校生徒のうち 928 人【前年度 (732 人) より 196 人増加】

不登校生徒数に占める割合 38.2%【前年度(34.5%)より 3.7 ポイント増加】

(3) 理由別長期欠席者数および不登校生徒数（高等学校）

① 県立高等学校における長期欠席 〈表 (13) (14)〉】

年間 30 日以上の長期欠席者数 1,119 人【前年度 (1,187 人) より 68 人減少】



② 長期欠席者のうち不登校生徒数 786 人【前年度 (802 人) より 16 人減少】

不登校生徒の在籍率 2.84%【前年度(2.86%)より 0.02 ポイント減少】

(全日制の不登校生徒数 634 人【前年度 (656 人) より 22 人減少】)

(定時制の不登校生徒数 152 人【前年度 (146 人) より 6 人増加】)

【学校内外の機関等で相談・指導等を受けていない生徒】 〈表 (15)〉

不登校生徒のうち生徒数 326 人【前年度 (342 人) より 16 人減少】

不登校生徒数に占める割合 41.5%【前年度(42.6%)より 1.1 ポイント減少】

(4) 不登校児童生徒について把握した事実

ア 公立小学校における不登校児童について把握した事実〈表(16)〉

- ・不登校要因の主たるものは、「学校生活に対してやる気が出ない等の相談」が509人(32.6%)、「不安・抑うつの相談」が490人(31.4%)を占める。

イ 公立中学校における不登校生徒について把握した事実〈表(17)〉

- ・不登校要因の主たるものは、「学校生活に対してやる気が出ない等の相談」が795人(32.7%)、「不安・抑うつの相談」が726人(29.9%)を占める。

ウ 県立高等学校（全日制）における不登校生徒について把握した事実〈表(18)〉

- ・不登校要因の主たるものは、「不安・抑うつの相談」が168人(26.5%)、「学校生活に対してやる気が出ない等の相談」が155人(24.4%)を占める。

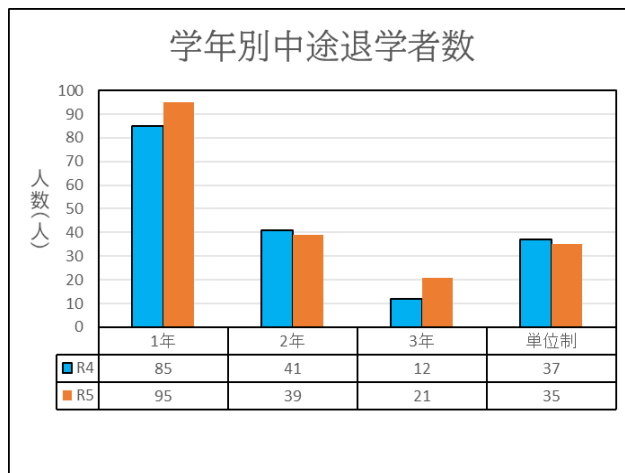
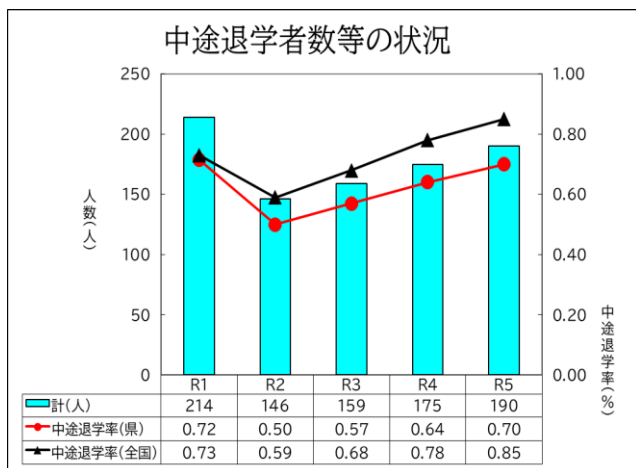
エ 県立高等学校（定時制）における不登校生徒について把握した事実〈表(19)〉

- ・不登校要因の主たるものは、「学校生活に対してやる気が出ない等の相談」が98人(64.5%)、「生活リズムの不調に関する相談」が47人(30.9%)を占める。

4 県立高等学校における中途退学者数等の状況（全日制）

（1） 年度別・学年別中途退学者数・中途退学率〈表（20）〉

- ① 中途退学者数 190 人【前年度（175 人）より 15 人増加】
- ② 中途退学率 0.70%【前年度（0.64%）より 0.06 ポイント増加】
- ③ 1 年生の中途退学者数 95 人【前年度（85 人）より 10 人増加】
- ④ 2 年生の中途退学者数 39 人【前年度（41 人）より 2 人減少】
- ⑤ 3 年生の中途退学者数 21 人【前年度（12 人）より 9 人増加】
- ⑥ 単位制の中途退学者数 35 人【前年度（37 人）より 2 人減少】



（2） 学科別中途退学者数・中途退学率〈表（21）〉

- ① 普通科の中途退学者数 115 人【前年度（99 人）より 16 人増加】
普通科の中途退学率 0.63%【前年度（0.54%）より 0.09 ポイント増加】
- ② 専門学科の中途退学者数 42 人【前年度（47 人）より 5 人減少】
専門学科の中途退学率 0.76%【前年度（0.86%）より 0.10 ポイント減少】
- ③ 総合学科の中途退学者数 33 人【前年度（29 人）より 4 人増加】
総合学科の中途退学率 0.95%【前年度（0.82%）より 0.13 ポイント増加】

（3） 学年別理由別中途退学者数〈表（22）〉

- ・最も多い理由「学校生活・学業不適応」
102 人（53.7%）【前年度（77 人）より 25 人増加】
- ・次に多い理由「進路変更」 34 人（17.9%）【前年度（73 人）より 39 人減少】

5 公立小学校、公立中学校、県立高等学校における自殺の状況

- ・総自殺者数は 6 人

令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題
に関する調査等の結果の概要について(県内公立学校)

数 値 デ ー タ 資 料

1. 公立小学校、公立中学校および県立高等学校における暴力行為の状況
2. 公立小学校、公立中学校、県立高等学校および県立特別支援学校におけるいじめの状況
3. 公立小学校、公立中学校および県立高等学校における長期欠席の状況等
4. 県立高等学校における中途退学者数等の状況(全日制)

※義務教育学校については、前期課程を小学校に、後期課程を中学校に含んでいる。

滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課
児童生徒室

1. 公立小学校、公立中学校および県立高等学校における暴力行為の状況

(1) 暴力行為の発生件数（滋賀県）

表 (1)

(件)

滋賀県	合計	小学校	中学校	高等学校
令和元年度	936	472	376	88
令和2年度	975	560	371	44
令和3年度	981	569	361	51
令和4年度	1275	741	492	42
令和5年度	1493	796	654	43

(2) 学校種別の発生件数

表 (2)

	小学校				中学校				高等学校			
	滋賀県		全国		滋賀県		全国		滋賀県		全国	
	件数(件)	児童 1000人 あたりの 発生 件数	件数(件)	児童 1000人 あたりの 発生 件数	件数(件)	生徒 1000人 あたりの 発生 件数	件数(件)	生徒 1000人 あたりの 発生 件数	件数(件)	生徒 1000人 あたりの 発生 件数	件数(件)	生徒 1000人 あたりの 発生 件数
令和元年度	472	5.8	42,548	6.8	376	9.7	27,120	9.1	88	2.8	4,564	2.1
令和2年度	560	6.9	40,292	6.5	371	9.5	20,509	6.9	44	1.4	2,790	1.3
令和3年度	569	7.1	47,087	7.7	361	9.2	23,583	7.9	51	1.7	2,706	1.3
令和4年度	741	9.4	59,933	9.9	492	12.6	28,473	9.6	42	1.5	2,905	1.5
令和5年度	796	10.2	68,143	11.4	654	16.7	32,161	10.9	43	1.5	3,815	1.9

(3) 校種別・形態別の発生件数

表(3)

		滋 賀 県					全 国				
		対教師暴力	生徒間暴力	対人暴力	器物損壊	合 計	対教師暴力	生徒間暴力	対人暴力	器物損壊	合 計
小 学 校	令和元年度	144	262	0	66	472	6,445	31,203	294	4,606	42,548
	令和2年度	186	297	2	75	560	5,890	29,881	531	3,990	40,292
	令和3年度	169	308	3	89	569	6,597	35,452	389	4,649	47,087
	令和4年度	275	340	3	123	741	8,955	44,072	507	6,399	59,933
	令和5年度	164	525	1	106	796	9,384	51,408	634	6,717	68,143
		滋 賀 県					全 国				
		対教師暴力	生徒間暴力	対人暴力	器物損壊	合 計	対教師暴力	生徒間暴力	対人暴力	器物損壊	合 計
中 学 校	令和元年度	84	195	9	88	376	2,875	18,398	566	5,281	27,120
	令和2年度	164	159	8	40	371	2,421	13,874	398	3,816	20,509
	令和3年度	122	170	7	62	361	2,481	16,488	388	4,226	23,583
	令和4年度	114	290	2	86	492	2,673	20,394	454	4,952	28,473
	令和5年度	167	373	8	106	654	3,264	22,665	484	5,748	32,161
		滋 賀 県					全 国				
		対教師暴力	生徒間暴力	対人暴力	器物損壊	合 計	対教師暴力	生徒間暴力	対人暴力	器物損壊	合 計
高 等 学 校	令和元年度	8	67	4	9	88	310	2,854	158	1,242	4,564
	令和2年度	3	27	1	13	44	210	1,691	86	803	2,790
	令和3年度	12	25	4	10	51	208	1,671	99	728	2,706
	令和4年度	10	20	2	10	42	189	1,913	84	719	2,905
	令和5年度	7	27	2	7	43	232	2,541	155	887	3,815

2. 公立小学校、公立中学校、県立高等学校および県立特別支援学校におけるいじめの状況

(1) 公立学校のいじめの認知件数（滋賀県）

表 (4)

滋賀県	合計	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
令和元年度	7,797	5,561	1,988	220	28
令和2年度	8,223	6,153	1,875	177	18
令和3年度	9,823	7,457	2,114	207	45
令和4年度	11,716	8,896	2,571	185	64
令和5年度	11,890	8,873	2,786	200	31

(2) 校種別いじめの認知件数・いじめを認知した学校数

表 (5)

		滋 賀 県				全 国			
		認知学校数 (校)	認知学校数の割合 (%)	認知件数 (件)	児童生徒 1000人 あたりの 認知件数	認知学校数 (校)	認知学校数の割合 (%)	認知件数 (件)	児童生徒 1000人 あたりの 認知件数
小 学 校	令和元年度	214	96.4	5,561	68.5	17,294	88.6	479,447	76.4
	令和2年度	216	98.2	6,153	76.2	16,798	86.9	416,861	67.1
	令和3年度	216	98.2	7,457	93.3	16,978	88.6	496,094	80.7
	令和4年度	218	99.1	8,896	112.5	17,222	90.5	545,958	89.8
	令和5年度	217	98.6	8,873	114.1	17,270	91.5	582,803	97.4
中 学 校	令和元年度	99	99.0	1,988	51.1	8,438	88.9	102,738	34.5
	令和2年度	97	99.0	1,875	48.2	8,086	85.6	78,537	26.5
	令和3年度	98	100.0	2,114	53.7	8,157	86.7	95,263	31.9
	令和4年度	98	100.0	2,571	65.6	8,278	88.3	108,335	36.5
	令和5年度	98	100.0	2,786	71.1	8,359	89.6	119,620	40.7
高 等 学 校	令和元年度	51	100.0	220	7.0	2,860	69.6	13,918	6.3
	令和2年度	46	90.2	177	5.8	2,440	59.6	10,238	4.8
	令和3年度	46	90.2	207	7.1	2,390	58.7	11,129	5.4
	令和4年度	42	82.4	185	6.5	2,541	63.0	12,179	6.1
	令和5年度	48	94.1	200	7.0	2,728	68.3	14,294	7.3

		滋 賀 県		全 国	
		認知学校数 (校)	認知件数 (件)	認知学校数 (校)	認知件数 (件)
特 別 支 援 学 校	令和元年度	11	28	497	2,963
	令和2年度	6	18	449	2,203
	令和3年度	10	45	475	2,623
	令和4年度	8	64	476	2,928
	令和5年度	9	31	484	3,198

(3) いじめの態様

表(6)

※件数は複数回答が可能であり、構成比は各区分における総認知件数に対する割合である。

小学校	滋 賀 県				全 国			
	4年度		5年度		4年度		5年度	
	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)
冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	3,721	41.8	3,820	43.1	308,109	56.4	336,937	57.8
仲間はずれ、集団による無視をされる。	668	7.5	758	8.5	66,221	12.1	71,100	12.2
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	3,183	35.8	3,020	34.0	140,036	25.6	142,862	24.5
ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	521	5.9	470	5.3	36,836	6.7	38,732	6.6
金品をたかられる。	75	0.8	65	0.7	4,791	0.9	5,573	1.0
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	614	6.9	556	6.3	30,159	5.5	31,272	5.4
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	2,367	26.6	2,488	28.0	56,530	10.4	62,792	10.8
パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる。	183	2.1	200	2.3	9,567	1.8	10,210	1.8
その他	0	0.0	0	0.0	24,749	4.5	23,293	4.0
計	11,332	***	11,377	***	676,998	***	722,771	***

中学校	滋 賀 県				全 国			
	4年度		5年度		4年度		5年度	
	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)
冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	1,424	55.4	1,604	57.6	67,170	62.0	76,074	63.6
仲間はずれ、集団による無視をされる。	187	7.3	177	6.4	9,555	8.8	10,636	8.9
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	516	20.1	534	19.2	15,506	14.3	16,728	14.0
ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	186	7.2	211	7.6	6,019	5.6	6,704	5.6
金品をたかられる。	26	1.0	16	0.6	937	0.9	1,107	0.9
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	143	5.6	145	5.2	5,333	4.9	5,804	4.9
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	570	22.2	678	24.3	9,219	8.5	11,302	9.4
パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる。	329	12.8	331	11.9	11,020	10.2	10,953	9.2
その他	0	0.0	0	0.0	3,766	3.5	3,423	2.9
計	3,381	***	3,696	***	128,525	***	142,731	***

高等学校	滋 賀 県				全 国			
	4年度		5年度		4年度		5年度	
	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)
冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	102	55.1	116	58.0	7,164	58.8	8,384	58.7
仲間はずれ、集団による無視をされる。	21	11.4	22	11.0	1,753	14.4	1,977	13.8
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	20	10.8	18	9.0	957	7.9	1,171	8.2
ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	10	5.4	14	7.0	352	2.9	536	3.7
金品をたかられる。	8	4.3	3	1.5	224	1.8	339	2.4
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	16	8.6	8	4.0	545	4.5	645	4.5
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	49	26.5	37	18.5	904	7.4	1,193	8.3
パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる。	34	18.4	35	17.5	2,043	16.8	2,234	15.6
その他	0	0.0	0	0.0	962	7.9	1,126	7.9
計	260	***	253	***	14,904	***	17,605	***

特別支援学校	滋 賀 県				全 国			
	4年度		5年度		4年度		5年度	
	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)	件数 (件)	構成比 (%)
冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	38	59.4	20	64.5	1,356	46.3	1,474	46.1
仲間はずれ、集団による無視をされる。	1	1.6	0	0.0	192	6.6	182	5.7
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	10	15.6	3	9.7	672	23.0	679	21.2
ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	4	6.3	0	0.0	156	5.3	284	8.9
金品をたかられる。	0	0.0	0	0.0	34	1.2	39	1.2
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	0	0.0	3	9.7	102	3.5	135	4.2
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	17	26.6	4	12.9	393	13.4	433	13.5
パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる。	2	3.1	6	19.4	262	8.9	269	8.4
その他	0	0.0	0	0.0	262	8.9	358	11.2
計	72	***	36	***	3,429	***	3,853	***

3. 公立小学校、公立中学校および県立高等学校における長期欠席の状況等

(1) ①理由別長期欠席者数（小学校）

表(7)

		滋賀県						全国					
		病気	経済的 理由	不登校	新型コロナウイルス の感染回避	その他	計	病気	経済的 理由	不登校	新型コロナウイルス の感染回避	その他	計
令和 元 年度	人 数 (人)	267	0	734		285	1,286	20,711	11	52,905		15,620	89,247
	在籍率(%)	0.33	0.00	0.90		0.35	1.58	0.33	0.00	0.84		0.25	1.42
令和 2 年度	人 数 (人)	274	0	851	143	327	1,595	18,310	13	62,862	13,724	17,396	112,305
	在籍率(%)	0.34	0.00	1.05	0.18	0.41	1.98	0.29	0.00	1.01	0.22	0.28	1.81
令和 3 年度	人 数 (人)	300	0	1,066	553	501	2,420	22,009	7	80,825	41,699	32,393	176,933
	在籍率(%)	0.38	0.00	1.33	0.69	0.63	3.03	0.36	0.00	1.32	0.68	0.53	2.88
令和 4 年度	人 数 (人)	389	0	1,265	125	697	2,476	31,279	15	104,265	15,780	42,924	194,263
	在籍率(%)	0.49	0.00	1.60	0.16	0.88	3.13	0.51	0.00	1.72	0.26	0.71	3.20
令和 5 年度	人 数 (人)	602	0	1,562		506	2,670	57,197	16	129,410		29,510	216,133
	在籍率(%)	0.77	0.00	2.01		0.65	3.43	0.96	0.00	2.16		0.49	3.61

②学年別不登校児童数(小学校)

表(8)

		滋 賀 県							全 国						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
令和 4 年度	人 数 (人)	84	135	169	237	283	357	1,265	6,633	10,009	13,727	18,226	25,222	30,448	104,265
	在籍率(%)	0.66	1.05	1.29	1.79	2.11	2.62	1.60	0.67	1.01	1.37	1.80	2.45	2.90	1.72
令和 5 年度	人 数 (人)	118	154	242	269	359	420	1,562	9,099	13,613	17,878	22,908	29,629	36,283	129,410
	在籍率(%)	0.96	1.21	1.87	2.05	2.70	3.13	2.01	0.96	1.38	1.80	2.28	2.92	3.52	2.16

③学校内外の機関等で相談・指導等を受けていない児童（小学校）

表(9)

	滋賀県		
	不登校数	受けていない 児童数	割合
R 1 年度	734	180	24.5%
R 2 年度	851	201	23.6%
R 3 年度	1,066	323	30.3%
R 4 年度	1,265	365	28.9%
R 5 年度	1,562	493	31.6%

(2) ①理由別長期欠席者数(中学校)

表(10)

		滋賀県						全国					
		病気	経済的理由	不登校	新型コロナウイルスの感染回避	その他	計	病気	経済的理由	不登校	新型コロナウイルスの感染回避	その他	計
令和元年度	人 数 (人)	304	0	1,335		247	1,886	24,033	15	122,519		8,657	155,224
	在籍率(%)	0.78	0.00	3.43		0.64	4.85	0.81	0.00	4.12		0.29	5.22
令和2年度	人 数 (人)	326	0	1,358	78	290	2,052	23,963	16	127,671	6,218	8,373	166,241
	在籍率(%)	0.84	0.00	3.49	0.20	0.75	5.27	0.81	0.00	4.30	0.21	0.28	5.60
令和3年度	人 数 (人)	465	0	1,835	253	319	2,872	31,992	8	157,019	15,716	16,467	221,202
	在籍率(%)	1.18	0.00	4.66	0.64	0.81	7.30	1.07	0.00	5.26	0.53	0.55	7.40
令和4年度	人 数 (人)	557	0	2,120	135	430	3,242	40,286	17	185,810	7,300	18,278	251,691
	在籍率(%)	1.42	0.00	5.41	0.34	1.10	8.28	1.36	0.00	6.27	0.25	0.62	8.49
令和5年度	人 数 (人)	585	0	2,429		275	3,289	44,756	13	207,013		10,666	262,448
	在籍率(%)	1.49	0.00	6.20		0.70	8.40	1.52	0.00	7.04		0.36	8.93

②学年別不登校生徒数(中学校)

表(11)

		滋 賀 県				全 国			
		1年	2年	3年	全体	1年	2年	3年	全体
令和4年度	人 数 (人)	638	774	708	2,120	51,698	67,682	66,430	185,810
	在籍率(%)	4.91	5.90	5.42	5.41	5.31	6.83	6.64	6.27
令和5年度	人 数 (人)	657	864	908	2,429	55,761	74,541	76,711	207,013
	在籍率(%)	5.04	6.64	6.91	6.20	5.74	7.64	7.72	7.04

③学校内外の機関等で相談・指導等を受けていない生徒(中学校)

表(12)

	滋賀県		
	不登校数	受けていない生徒数	割合
R 1 年度	1,335	369	27.6%
R 2 年度	1,358	413	30.4%
R 3 年度	1,835	736	40.1%
R 4 年度	2,120	732	34.5%
R 5 年度	2,429	928	38.2%

(3) ①理由別長期欠席者数（高等学校）

表 (13)

		滋 賀 県						全 国					
		病 気	経済的 理由	不登校	新型コロナ ウィルスの 感染回避	その他	計	病 気	経済的 理由	不登校	新型コロナ ウィルスの 感染回避	その他	計
令和 元 年度	人 数 (人)	187	1	624		31	843	10,546	501	37,692		8,095	56,834
	在籍率(%)	0.61	0.00	2.04		0.10	2.76	0.49	0.02	1.76		0.38	2.66
令和 2 年度	人 数 (人)	149	3	692	15	28	887	10,909	371	32,127	7,208	9,575	60,190
	在籍率(%)	0.50	0.01	2.33	0.05	0.09	2.99	0.53	0.02	1.55	0.35	0.46	2.90
令和 3 年度	人 数 (人)	224	4	727	57	87	1,099	14,760	332	37,919	8,781	26,476	88,268
	在籍率(%)	0.78	0.01	2.55	0.20	0.30	3.85	0.74	0.02	1.90	0.44	1.33	4.42
令和 4 年度	人 数 (人)	285	6	802	11	83	1,187	19,805	243	44,395	6,812	17,523	88,778
	在籍率(%)	1.02	0.02	2.86	0.04	0.30	4.24	1.02	0.01	2.29	0.35	0.90	4.57
令和 5 年度	人 数 (人)	257	2	786		74	1,119	16,913	282	50,075		7,535	74,805
	在籍率(%)	0.93	0.01	2.84		0.27	4.04	0.89	0.01	2.63		0.40	3.93

②学年別不登校生徒数（高等学校）

※全日制の総合学科は単位制で集計している。

表 (14)

		滋 賀 県						全 国					
		1 年	2 年	3 年	4 年	単位制	全体	1 年	2 年	3 年	4 年	単位制	全体
令和 4 年度	全 日 制	191 (2.3)	227 (3.0)	152 (2.0)		86 (2.2)	656 (2.4)	8,870 (1.7)	8,319 (1.7)	6,700 (1.3)		7,203 (2.1)	31,092 (1.7)
	定 時 制	3 (18.8)	0 (0.0)	1 (14.3)	0 (0.0)	142 (27.1)	146 (25.6)	578 (11.7)	433 (10.1)	495 (10.7)	312 (8.2)	11,485 (22.2)	13,303 (19.2)
	計	194 (2.4)	227 (3.0)	153 (2.0)	0 (0.0)	228 (5.2)	802 (2.9)	9,448 (1.8)	8,752 (1.7)	7,195 (1.4)	312 (8.2)	18,688 (4.7)	44,395 (2.3)
令和 5 年度	全 日 制	166 (2.1)	200 (2.5)	149 (2.0)		119 (3.1)	634 (2.3)	9,970 (2.0)	9,377 (1.9)	7,778 (1.6)		8,575 (2.4)	35,700 (1.9)
	定 時 制	1 (7.1)	1 (8.3)	2 (18.2)	1 (16.7)	147 (28.1)	152 (26.9)	636 (12.1)	470 (11.1)	385 (10.0)	295 (9.0)	12,589 (24.4)	14,375 (21.1)
	計	167 (2.1)	201 (2.5)	151 (2.0)	1 (16.7)	266 (6.1)	786 (2.8)	10,606 (2.1)	9,847 (2.0)	8,163 (1.7)	295 (9.0)	21,164 (5.1)	50,075 (2.6)

③学校内外の機関等で相談・指導等を受けていない生徒（高等学校）

表 (15)

	滋賀県		
	不登校数	受けていない 生徒数	割合
R 1 年度	624	315	50.5%
R 2 年度	692	248	35.8%
R 3 年度	727	341	46.9%
R 4 年度	802	342	42.6%
R 5 年度	786	326	41.5%

(4) ①不登校児童について把握した事実【小学校】

表 (16)

区分			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
			いじめの被害の情報や相談があった。	の情報や被害を除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題の情報や相談があった。	学業の不振や頻繁な宿題の未提出が見られた。	学校のきまり等に関する相談があった。	転編入学、進級時の不適応による相談があった。	家庭生活の変化に関する情報や相談があった。	親子の関わり方に関する問題の情報や相談があった。	生活リズムの不調に関する相談があった。	あそび、非行に関する情報や相談があった。	学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった。	不安・抑うつとの相談があった。	障害(疑い含む)に起因する特別な教育支援の求めや相談があった。	や個別の配慮(13以外)についての求めや相談があった。
滋賀県	不登校児童生徒について把握した事実(複数回答可)	人数(人)	39	212	98	309	61	67	229	463	468	25	509	490	201	276
		割合(%)	2.5	13.6	6.3	19.8	3.9	4.3	14.7	29.6	30.0	1.6	32.6	31.4	12.9	17.7
全国	不登校児童生徒について把握した事実(複数回答可)	人数(人)	2,264	14,795	5,643	18,988	2,589	4,249	12,025	21,920	31,666	2,977	41,730	29,284	11,381	10,979
		割合(%)	1.7	11.4	4.4	14.7	2.0	3.3	9.3	16.9	24.5	2.3	32.2	22.6	8.8	8.5

②不登校生徒について把握した事実【中学校】

表 (17)

区分			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
			いじめの被害の情報や相談があった。	の情報や被害を除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題の情報や相談があった。	学業の不振や頻繁な宿題の未提出が見られた。	学校のきまり等に関する相談があった。	転編入学、進級時の不適応による相談があった。	家庭生活の変化に関する情報や相談があった。	親子の関わり方に関する問題の情報や相談があった。	生活リズムの不調に関する相談があった。	あそび、非行に関する情報や相談があった。	学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった。	不安・抑うつとの相談があった。	障害(疑い含む)に起因する特別な教育支援の求めや相談があった。	や個別の配慮(13以外)についての求めや相談があった。
滋賀県	不登校児童生徒について把握した事実(複数回答可)	人数(人)	41	383	71	529	71	114	235	421	714	128	795	726	230	281
		割合(%)	1.7	15.8	2.9	21.8	2.9	4.7	9.7	17.3	29.4	5.3	32.7	29.9	9.5	11.6
全国	不登校児童生徒について把握した事実(複数回答可)	人数(人)	1,967	29,870	4,365	31,735	4,059	9,216	12,317	19,847	44,795	8,527	67,207	48,387	12,246	11,341
		割合(%)	1.0	14.4	2.1	15.3	2.0	4.5	5.9	9.6	21.6	4.1	32.5	23.4	5.9	5.5

③不登校生徒について把握した事実【高等学校 全日制】

表 (18)

区分			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
			いじめの被害の情報や相談があった。	の情報や相談があった。友人関係をめぐる問題	が教職員との関係をめぐる問題の情報や相談があった。	れた。学業の不振や頻繁な宿題の未提出が見られた。	学校のきまり等に関する相談があった。	あった。転編入学、進級時の不適応による相談があった。	あった。家庭生活の変化に関する情報や相談があった。	談が親子の関わり方に関する問題の情報や相談があった。	た。生活リズムの不調に関する相談があった。	た。あそび、非行に関する情報や相談があった。	談が学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった。	不安・抑うつとの相談があった。	的支援の求めや相談があった。起因する特別な教育	や個別の配慮（13以外）についての求めや相談があった。
滋賀県	不登校児童生徒について把握した事実(複数回答可)	人数(人)	10	94	3	106	18	70	38	62	115	18	155	168	23	11
		割合(%)	1.6	14.8	0.5	16.7	2.8	11.0	6.0	9.8	18.1	2.8	24.4	26.5	3.6	1.7
全国	不登校児童生徒について把握した事実(複数回答可)	人数(人)	368	4,165	593	6,187	721	2,304	1,795	2,483	9,185	1,693	12,304	5,506	690	897
		割合(%)	1.0	11.7	1.7	17.3	2.0	6.5	5.0	7.0	25.7	4.7	34.5	15.4	1.9	2.5

④不登校生徒について把握した事実【高等学校 定時制】

表 (19)

区分			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
			いじめの被害の情報や相談があった。	の情報や相談があった。友人関係をめぐる問題	が教職員との関係をめぐる問題の情報や相談があった。	れた。学業の不振や頻繁な宿題の未提出が見られた。	学校のきまり等に関する相談があった。	あった。転編入学、進級時の不適応による相談があった。	あった。家庭生活の変化に関する情報や相談があった。	談が親子の関わり方に関する問題の情報や相談があった。	た。生活リズムの不調に関する相談があった。	た。あそび、非行に関する情報や相談があった。	談が学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった。	不安・抑うつとの相談があった。	的支援の求めや相談があった。起因する特別な教育	や個別の配慮（13以外）についての求めや相談があった。
滋賀県	不登校児童生徒について把握した事実(複数回答可)	人数(人)	0	7	0	20	1	24	11	17	47	15	98	30	3	0
		割合(%)	0.0	4.6	0.0	13.2	0.7	15.8	7.2	11.2	30.9	9.9	64.5	19.7	2.0	0.0
全国	不登校児童生徒について把握した事実(複数回答可)	人数(人)	59	1,053	177	1,787	181	613	676	868	3,941	1,098	5,202	2,205	404	269
		割合(%)	0.4	7.3	1.2	12.4	1.3	4.3	4.7	6.0	27.4	7.6	36.2	15.3	2.8	1.9

4. 県立高等学校における中途退学者数等の状況(全日制)

(1) 年度別・学年別中途退学者数・中途退学率 (滋賀県)

表 (20)

	1年(人)	2年(人)	3年(人)	単位制(人)	計(人)	在籍者数(人)	県中途退学率(%)	全国中途退学率(%)
令和元年度	114	57	14	29	214	29,891	0.72	0.73
令和2年度	89	27	10	20	146	29,018	0.50	0.59
令和3年度	81	46	12	20	159	27,949	0.57	0.68
令和4年度	85	41	12	37	175	27,433	0.64	0.78
令和5年度	95	39	21	35	190	27,162	0.70	0.85

(2) 学科別中途退学者数・中途退学率 (滋賀県)

表 (21)

※専門学科とは、農業・工業・商業・家庭・その他の学科を指している。

		普通	専門	総合	計
令和元年度	中途退学者(人)	138	48	28	214
	在籍者(人)	20,546	5,695	3,650	29,891
	県中途退学率(%)	0.67	0.84	0.77	0.72
	全国中途退学率(%)	0.63	0.89	1.07	0.73
令和2年度	中途退学者(人)	91	36	19	146
	在籍者(人)	19,884	5,554	3,580	29,018
	県中途退学率(%)	0.46	0.65	0.53	0.50
	全国中途退学率(%)	0.50	0.74	0.84	0.59
令和3年度	中途退学者(人)	94	46	19	159
	在籍者(人)	19,057	5,353	3,539	27,949
	県中途退学率(%)	0.49	0.86	0.54	0.57
	全国中途退学率(%)	0.57	0.85	1.00	0.68
令和4年度	中途退学者(人)	99	47	29	175
	在籍者(人)	18,431	5,485	3,517	27,433
	県中途退学率(%)	0.54	0.86	0.82	0.64
	全国中途退学率(%)	0.65	1.00	1.15	0.78
令和5年度	中途退学者(人)	115	42	33	190
	在籍者(人)	18,179	5,513	3,470	27,162
	県中途退学率(%)	0.63	0.76	0.95	0.70
	全国中途退学率(%)	0.69	1.12	1.26	0.85

(3) 学年別理由別中途退学者数<文部科学省調査項目による分類> (滋賀県)

表 (22)

理由 年度・学年		学業不振	学校生活・学業不適応	進路変更					病気・けが・死亡	経済的理由	家庭の事情	問題行動等	その他の理由	合計
				別の高校への入学を希望	専修各種学校への入学を希望	就職を希望	高卒程度認定試験の受験を希望	その他						
令和4年度	1年（人）	7	37	12	1	14	4	1	3	0	2	4	0	85
	2年（人）	1	23	2	0	8	1	5	1	0	0	0	0	41
	3年（人）	1	3	0	0	2	6	0	0	0	0	0	0	12
	単位制（人）	4	14	2	1	10	1	3	1	0	1	0	0	37
	計（人）	13	77	16	2	34	12	9	5	0	3	4	0	175
				73										
	滋賀県割合（％）	7.4	44.0	9.1	1.1	19.4	6.9	5.1	2.9	0.0	1.7	2.3	0.0	100
				41.7										
全国割合（％）	7.0	36.8	16.7	0.9	11.4	3.9	7.7	3.8	0.3	3.2	2.2	6.1	100	
			40.7											
令和5年度	1年（人）	15	58	12	0	3	1	0	3	0	1	1	1	95
	2年（人）	4	19	2	0	1	2	2	3	0	3	1	2	39
	3年（人）	0	9	1	0	1	3	0	1	0	2	4	0	21
	単位制（人）	5	16	2	1	3	0	0	0	0	4	4	0	35
	計（人）	24	102	17	1	8	6	2	7	0	10	10	3	190
				34										
	滋賀県割合（％）	12.6	53.7	8.9	0.5	4.2	3.2	1.1	3.7	0.0	5.3	5.3	1.6	100
				17.9										
全国割合（％）	7.4	38.9	14.9	1.1	11.0	3.8	7.6	3.1	0.2	2.9	2.3	6.6	100	
			38.4											